

# 過去・現在の沖縄について 地元の人々の話を聞く、話す、考える

一般社団法人浦添市観光協会 事務局長 千住 直広



## プログラム概要

前田高地（ハクソーリッジ）と普天間基地を望む嘉数高台を巡る平和学習ツアー「うらおそい歴史ガイド×スマイライフ」沖繩戦、基地を通して平和を考える」は、前田高地と嘉数高台という沖縄戦時における2カ所の激戦地をそれぞれ地元ベテランガイド、地元大学生の案内で巡る2つのフィールドワークと、その後の大学生とのディスカッションで成している。

嘉数高台からは当時米軍が沖縄本島に最初に上陸した北谷、読谷付近から目の前の普天間基地までを望むことができ、振り返ると前田高地が見える。そして前田高地から振り返ると日本



普天間基地を望む展望台にて

軍の司令部のあった首里が見える。つまり2カ所の激戦地をフィールドワークすることは、米軍が上陸し首里が陥落するまでの進軍／旧日本軍の防衛の動線を、自身の移動と目で確認することができ、必然性があるのだ。過去から現在への沖縄について、年代も異なる地元の人々の話を聞きながら巡ることで見えてくることがあり、感じ取れることがあるだろう。

フィールドワークの後は、修学旅行生と年の近い大学生とディスカッションを行い、自ら発言してもらうことにより、理解、考えのきっかけ、まとめの一助を担う。フィールドワークを旅ナカとするなら、ディスカッションが旅アトを担うものとなる。

所要時間は移動時間を除き約3時間、費用は生徒1名につき3,500円（税込）、ガイド1名あたり生徒15名以内の案内となっている。

## うらおそい歴史ガイド 友の会・前田高地について

うらおそい歴史ガイド友の会は、浦添市教育委員会認定者で構成され、浦添城跡をはじめ

されるだろう。

## スマイライフ (Smilife)・ 嘉数高台について

スマイライフ (Smilife、顧問 藤波潔教授) は、普天間基地のすぐそばにある沖縄国際大学の総合文化学部社会文化学科の学生のみで構成された2006年創立の伝統あるサークルである。2004年には同大学の構内に米軍ヘリコプターが墜落するという痛ましい事故が起きており、燃え残ったアカギの木、取り壊された校舎の残された塀がモニユメントとなっている。フィールドワークの中でこのモニユメントの見学、解説があるが、今なお当時と同じく基地と隣り合わせの位置にある沖縄国際大学の学生がそれを行うのは必然的であり、相変わらず彼らのすぐ近くにある危険性が取り除かれていないことの重みを感じられるはずだ。



大学生とディスカッション

少し離れた嘉数高台公園付近でもスマイライフのメンバーとフィールドワークが行われ、普天間基地を眼下に望む展望台、トーチカ、慰霊碑を巡る。展望台では、基地がテレビによく映し出

される映像と全く同じであることを確認できるが、飛行場と自分、周りの住宅地、沖縄国際大学校舎との距離の近さを自分のものとして実感でき、またオスプレイが飛んでいればその飛行高度の低さ、騒音を間近で身体で感じられるだろう。トーチカに入ってみると、沖縄の気候で、その狭い中に兵士が何名も入って戦うことの辛さが、また敵側の面を見るとき、弾痕や破壊された様子が確認でき、戦闘の激しさを肌で感じられるであろう。



トーチカ前にて

## プログラム参加者の感想より

○ディスカッションの進み方が大変心地よく、話す、聞く、考えるのすべてができたと思います。大学生の皆さんの考え方を聞いたことで、考えが二極化することの怖さをよく知ることができました。

○心のもった説明でしつかりと今の生活に對してどのような影響があつて住民や今の大学生が米軍基地についてどう思っているのかを具体的に聞くことができたのでとても有意義な時間になりました。またディスカッションで沖縄の基地問題について議論し合うことができてとても満足できました。

め、浦添市内の文化財・戦跡などのガイドの他、「浦添グスク・ようどれ館」の展示物の解説等を行っている特定非営利活動法人である。所属ガイドは年齢的にも力量的にもベテランガイドと呼んでよいだろう。



前田高地を案内するうらおそい歴史ガイド友の会のガイド

前田高地とは前田集落の北側に広がる標高120mの高地で、断崖には巨石「ワカリジ」が立っている。その場所は日本遺産「浦添城跡」とほぼ同じと理解して構わない。沖縄戦時、旧日本軍はここから米軍の動きを監視し、反対に米軍もこの巨石を目印に前線を進めてきた。そのため組織的に激突し激戦地となった。2017年公開のメロ・ギブソン監督の映画「ハクソーリッジ」の舞台となり、映画の公開で世界的に知られて国内外から多くの観光客が訪れるようになった。

フィールドワークでは陣地壕群、慶良間の見える丘、ディーグガマ、展望台周辺、クチグラーガマをガイドの解説を聞きながら巡る。道中、史跡や展望台からの眺めには圧倒

た。○年配の方々は意見がかなり偏っている場合や感情的な場合が多く、限られた時間の中ではなかなかお互いに理解できない研修もあります。このプログラムにおいては、中立的な立場からの意見を聞くことができ、年も近い大学生の意見は、生徒たちにとっては新鮮で素直に受け止められた様子でした。また生徒たちの意見も聞いていただけ良かったです。(教員)

## おわりに

ウクライナとロシアの紛争、スーダン内戦等、現在進行形で紛争が起きており、再び平和が脅かされ始めているように感じる人も多し。学生はもちろん大人も一緒に過去をよく知って、現在、未来を考えるべき岐路にきているように思える。このプログラムによる探究学習は、平和とは何かを自分事として捉え、行動に移すことができる、この上なく学習効果があるものと考えている。またプログラムに旅マエの要素を入れるなどのブラッシュアップも考えていきたい。

## 【問い合わせ先】

一般社団法人浦添市観光協会  
沖縄県浦添市勢理客4-13-1 4階  
TEL: 098-874-0145  
FAX: 098-917-0874  
e-mail: urakan@urasenav.jp

# 月刊教育旅行

## 2023.8

連載 教育旅行研究  
大阪府 大阪明星学園 明星中学校  
[方面:長崎県]

特集

### 「戦争と平和」を考える 探究型の教育旅行プログラム

教育旅行8月号 二〇二三年八月一日発行(毎月一回一日発行) 第七二巻第八号



福井県の若狭湾一帯でチャレンジ!!



# ふれあい 体験 若狭路



若狭路の自然、人々から学ぶ。  
「いただきます」



公益財団法人日本修学旅行協会 四八二円(税込)

## SCHOOL EXCURSION in WAKASAJI

- 敦賀市 (一社)敦賀観光協会 TEL(0770)22-8167 FAX(0770)22-8197 <https://tsuruga-kanko.jp>
- 美浜町 若狭美浜はあとふる体験推進協議会 TEL(0770)32-2222 FAX(0770)32-6667 <https://tabikobo-jpn.com/>
- 若狭町 (一社)若狭三方五湖観光協会 TEL(0770)45-0113 FAX(0770)45-0129 <http://www.wakasa-mikatagoko.jp/>
- 小浜市 (一社)若狭おばま観光協会 TEL(0770)52-3845 FAX(0770)52-3846 <https://www.wakasa-obama.jp/>
- おおい町 (一社)おおい町観光協会 TEL(0770)77-1734 FAX(0770)77-1784 <https://www.wakasa-ohi.jp/>
- 高浜町 (一社)若狭高浜観光協会 TEL(0770)72-0338 FAX(0770)72-0774 <https://www.wakasa-takahama.jp/>



お問い合わせは…(一社)若狭湾観光連盟または若狭路各観光協会へ TEL(0770)64-5640 FAX(0770)64-5641 <https://wakasabay.jp>

食の海道 若狭路

